

第5学年外国語科学習指導案

令和2年5月27日(水) 第5校時
東山小学校 5年1組 児童数20名
指導者 T1 奥宮 智子
ALT Madeleine Armstrong

該当する学習指導要領における領域別目標

「聞くこと」ウ

ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができる。

「話すこと[やり取り]」ウ

自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝えあうことができるようにする。

「書くこと」ア

大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。

「CAN-DO リスト」形式の学習到達目標

「聞くこと」ウ

ゆっくりはっきりと話された際に、友達や家族、学校生活など身近で簡単な事柄についてイラストや写真を見ながら聞き、話の概要を捉えることができる。

「話すこと[やり取り]」ウ

自分に関する簡単な質問に対してその場で答えたり、その答えに反応したりして短い会話を行うことができる。

「書くこと」ア

文字の読み方が発音されるのを聞いて、活字体の大文字・小文字を書くことができる。

1 単元名

「バースデーカードをつくろう！」

(NEW HORIZON Elementary Unit 2 When is your birthday?)

2 単元の目標

- ・自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、自分や相手の誕生日や欲しいものなどについて、短い話を聞いてその概要が分かったり、伝えあったりできる。
- ・外国語の背景にある文化に対する理解を深める。
- ・アルファベットの活字体の小文字を書くことができる。

※なお、本単元における「聞くこと」ウと「書くこと」アについては目標に向けて指導は行うが、本単元内で記録に残す評価は行わない。

3 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すことや取り	<p><知識></p> <p>・「When is ~? My birthday is~. What do you want for~? I want~.およびその関連語句など」について理解している。</p> <p><技能></p> <p>・誕生日や欲しいものなどについて、「When is ~? My birthday is~. What do you want for~? I want~.およびその関連語句など」を用いて伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>・自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、誕生日や欲しいものなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合っている。</p>	<p>・自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、誕生日や欲しいものなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合おうとしている。</p>

4 単元について

○単元観

今後ますますグローバル化が進む社会で必要となる力の一つが、国際共通語である英語でコミュニケーションを図ることができる力である。グローバル社会で生きるためにはコミュニケーションのツールとして英語が使えただけでなく、積極的に人や社会と関わり、自己を表現し他者と共感するなど、互いの存在について理解を深めることが必要であり、そのことが他者を尊重しようとする態度に繋がっていくと考えられる。

本単元は、世界と日本の祭りや行事、世界から見る日本の良さを伝えている映像や音声を通して、月名を英語でどのように言うのかを知り、互いに誕生日を尋ねたり答えたりする活動を行う。児童は日常生活において自分の誕生日を伝える機会はあまりないが、月や日にちを質問したり答えたりするような場面は意外と多い。そこで、英語での月の言い方や序数に慣れ親しみ、友達の誕生日を尋ねたり自分の誕生日を答えたりする活動を通して、積極的にコミュニケーションを図る態度を育てることをねらいとしている。

導入は、ゲーム等の遊びの要素も取り入れ、楽しみながら月日の言い方に十分慣れ親しませ、徐々に話す活動へ移行する。誕生日について尋ね合う場面では、相手のことを知り、自分のことを相手に伝えることを大切に、温かなコミュニケーションを図る楽しさを体験できるようにすると同時に、外国の祭りや行事に触れさせ、改めて日本の四季や文化の良さに気づかせる。

また、本単元では、アルファベットの活字体の小文字を書くことができるようになることも目標としている。バースデーカードを作成するという場面設定をし、丁寧に文字を書く活動を通して、書くことの有用性を実感できる活動であるとする。

○児童観

本学級の児童は、中学年の時から 35 時間の外国語活動に取り組み、外国語についての学習を通して、基本的なコミュニケーションの素地を養ってきた。そのため児童の多くは、外国語を使って伝え合うことや、聞くことを体験的に活動することで慣れ親しんできた。また、外国語活動だけではなく、他教科においても「相手意識をもって伝えること」に取り組んできた。しかし、人前で発表することや反応を示すこと、自分から友達と関わりにくい児童も数名おり、言語活動を行う際には配慮を必要とする児童もいる。また、今年度は 2 年に 1 度のクラス替えもあり、初めて同じクラスになった友達がいるため、より多くのかかわりをもち始めてきたところではあるが、クラス全体としてのつながりは弱い。

昨年度末に行った外国語教育意識調査の質問項目においては、「英語（外国語活動）の授業は楽しい」92.5%、「英語（外国語活動）の授業に進んで参加している」95%、「外国語で友達や先生と会話することが楽しい」87%、「英語で自分のことや意見を発表することが楽しい」74.5%という結果であった。このことから、外国語活動に対する意欲は高いが、英語を使って伝える自己表現する活動に苦手意識をもっていると考えられる。また、他教科においても自分の意見を伝えることに消極的な児童もいて、外国語活動においてもクリアボイスで相手を意識した伝え方にも多くの課題がある。

○指導観

本単元では、単元ゴールを「(友達のために) バースデーカードをつくろう！」と設定し、自分のことを伝え、相手のことを聞いてもっと知ることができる活動にした。日常会話から月日や誕生日を伝え合うことを通して、より友達のことを知って認め合う関係性を築くことができるよう、楽しく活動できるようにしていきたい。年度当初の課題である友達同士の繋がりをより広くするためにも、外国語活動を通して相手意識をもたせ、関わりを多くする活動を仕組むことで、コミュニケーション活動が主体的なものとなるよう支援していきたいと考える。

第 1 時では、児童に友達にバースデーカードを作るという相手意識をもたせることで、オリジナルのバースデーカードを作りたいという意欲をもたせることを大切にしたい。本学級の児童は、消極的な児童が数名いるため、**Small talk** でジェスチャーやコミュニケーションの 4 観点を意識したデモンストレーションを **HRT** と **ALT** で行い、バースデーカードを友達のために作るというゴールイメージをつかませる。そして、バースデーカードを作るうえで必要な月の言い方を取り上げ、**Pointing Game** を通して、月の言い方に慣れ親しむ活動を設定する。その際、音声や映像を視聴して、聞き取ったことや気付いたことなどを発表させ、短い話の概要を捉えることや、文字を意識してバースデーカードを完成させていくという意識付けを行い、アルファベットの大文字を書く活動も取り入れる。

第 2 時では、**Hi! Friends2** の **Let's Chant 「Twelve Month」** を活用し、前時の「月」の発音に慣れ親しむ活動を行う。その後、「**Do you know?**」の月のカードを見せながら、世界にはいつどんなお祭りや伝統的な行事があるのかに触れ、世界と日本の行事との違いに気づかせる。その際、ただ映像を流すだけではなく、クイズ形式にして出題し、月ごとの行事を聞き取る活動を通して、異文化に触れると同時に、児童の外国語に対する抵抗感を無くすために楽しく参加できるようにしたい。日付の単語は **Word Link** を活用しつつ、**Missing Game** にて抵抗感なく全員が参加できる活動を取り入れる。その後、月日の言い方と日常生活との関連を図りながら **Starting Out** の映像を見せ、聞き取りの活動も取り入れていくことで、次時で月日の表現を確実に使うことができるようにしていく。

第3時では、前時までに月日の言い方に慣れ親しんだことを踏まえて、話すこと〔やり取り〕の基本的な表現を用いて「**When is your birthday?**」「**My birthday is～.**」と答える活動を取り入れる。まず、**Small talk**では、**ALT**と月日を答えるデモンストレーションを見せ、徐々に児童に「**My birthday is～.**」と答える会話のやり取りを全体に広げていく。誕生日についてどのように尋ね合えばよいのか、文字と絵を組み合わせたやり取りを視覚支援しながら提示し、丁寧に扱っていく。その後、**Let's try2**にもある友達と誕生日を尋ね合う活動を行い、最後にはグループに分かれ、声に出して相手に誕生日を尋ね合うことをルールにした誕生日チェーンの活動を行っていく。これらの活動を通して、本単元で習得する「**When is your birthday?**」「**My birthday is～.**」の表現を確実に使うことができるようにする。文字指導では、バースデーカードを作成する際に、必要な小文字を書くことにも触れていく。

第4時では、前時との関連を図りながら誕生日の聞き方や答え方のやり取りを**Let's Chant**にある「**When is your birthday?**」で想起させるとともに、欲しい物を尋ね合う「**What do you want?**」の表現もあることに気づかせていく。児童は、昨年度までに欲しい物を尋ね合う活動には慣れ親しんできたこともあり、**Word Link**を活用し、「**Small**」や「**Big**」等の「状態」の表現を付け加えることにより、会話のやり取りを広げていけると考える。そのやり取りを、まず**Let's Listen1**の音声を聞き取る活動で慣らし、**Let's try3**で相手にほしい物を尋ねたり答えたりすることができるようにしていく。その際、中間評価で相手に自分のことを詳しく伝えるために、言いたくても言えなかった表現等を確認し、さらに2回目、3回目と会話のやり取りをするよう助言していく。

第5時（本時）では、前時で使った表現を確実なものにしていく手がかりとして、**Small talk**で「**I want～.**」を取り入れたデモンストレーションを行う。その後、**Let's Listen2**で「クリスマス」と日本の「お正月」がいつ行われるのか聞き取る活動を取り入れる。本時では、クリスマスとお正月を取り上げているが、友達のことをもっと知るためにバースデーカードを作るという目的意識からそれないよう指導していく。自分のことをより詳しく伝えるためにも、まず自分が欲しい物を考え、これまでの表現を使って友達と欲しい物を伝え合う。その後、中間評価で友達の欲しい物についての理由や言いたくても英語で表現できなかつたことを意識させることで、会話のやり取りを繋げていけるようにする。伝えることに抵抗感を示す児童もいると考えられるため、単語や絵で言い方を提示したり、ヒントカードを持たせる工夫を取り入れたりする。欲しい物を尋ね合う表現を用いて、お互いの考えや気持ちを伝え合う姿を褒めるようにし、自信をもたせていくことにも配慮する。

第6時では、バースデーカードを贈る相手を決め、その相手のことをもっと知るために誕生日や欲しい物、好きな物などを尋ね合う活動を取り入れてバースデーカードを作成していく。贈る相手は、これまでのやり取りを行っていない相手にする。単元を通して、より多くの友達と関わりを増やすためにも会話のやり取りを行う相手の配慮も行う。**Step1**では、「**When is your birthday?**」「**My birthday is～.**」の会話のやり取りを映像や**ALT**と尋ね合う活動で想起させる。**Step2**では、誕生日に欲しい物を尋ね合って、相手が欲しい物を聞きながら絵を描き、相手へのメッセージを書くことも取り入れていく。

第7時では、作成したバースデーカードの交換を行う。その際、カードに書いたことを伝えられるよう、**Small talk**で「**It's～.**」に触れる。また、**ALT**に合わせて「**This is for you.**」の言い方を伝えたいうで交換を行う。その後、追加のバースデーカードとして、家族への感謝の気持ちを込めて自分の誕生日や好きな物を書いたメッセージカードを作成する。そこでは、これまで文字指導で習得した

単語を取り入れたメッセージカードとなるように書くことも意識させて指導する。

第8時では、世界に目を向けていく活動を行う。世界から見る日本の良さを伝えている映像や音声を聞くことで、日本在中の外国人の日本に対する思いや、世界と日本の文化に対する理解を深めていきたい。

本単元をきっかけに、自分のことを伝えたり相手のことを知ったりする活動を通して、自分から関わりがもてる児童の育成を目指し、コミュニケーション能力の向上を図っていきたい。自己表現力やコミュニケーション能力を養うためには、相手意識をもたせることが不可欠である。そのため、本単元だけでなく、今後も誰とでもペア・グループ活動が自然とできるよう、児童同士を繋げる役割を教師が担う等の工夫を取り入れていく。

外国語が教科となった今、教科でつけるべき力を明確にした指導を行う中で、学習への困難性への対処を踏まえた支援を考えていくことも必要である。本学級の児童は、英語で自分のことや意見を発表することへの課題が見られる。その課題が文字の音や形がとらえられにくいことから出てくるものだとすれば、あらかじめつまずきを想定した授業を仕組むことも求められる。英語を使った様々な活動を通して、児童が「できた」「分かった」「伝えられる」「使ってみよう」という意欲や達成感を味わわせることが、本校の研究主題にもある「主体的・対話的で深い学びの実現」に向けたコミュニケーション力の向上に繋がるであろう。これらのことは、他教科との関連を図ることも必要であり、どの教科においても、友達との繋がりを意識した授業実践、授業改善と繋がるよう対話できる関係性を築いていき、研究主題に迫っていきたい。

5 言語材料

○表現（児童の発話）

When is ~? My birthday is~. What do you want for~? I want~. This is for you.
Here you are. Thank you.

○語彙（児童が使う語彙）

月（January 等）日付（first 等）衣類（T-shirt 等）状態（big 等）日常生活（ball 等）

6 単元の指導と評価の計画（8時間）

時	目標（◆）と主な活動（【 】、○）	◎評価規準〈方法〉
1	<p>◆誕生日や欲しい物についてのやり取りのおおよその内容を理解する。</p> <p>【Small Talk】</p> <p>○曜日についての Small Talk を聞き、授業者からの質問に It's(月). と答える。</p> <p>○単元ゴールを提示し、単元の見通しを持つ。</p> <p>【Activity 1】</p> <p>○Word Link</p> <p>・「月」の言い方を復唱する。</p> <p>○Let's Try 1 Pointing Game</p> <p>・言われた月の単語を答える。</p>	

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業者が示す絵カードの単語を言う。 【Activity 2】 ○Let's Watch and Think <ul style="list-style-type: none"> ・ 音声や映像を視聴して、それぞれの行事が何月に行われているかを書き込む。 ・ 答え合わせをする。 ・ 音声や視聴から分かったことを発表する。 ○Starting Out <ul style="list-style-type: none"> ・ No.1~No.5の音声を聞いて、A~Eの□に聞こえた順に番号を記入する。 ・ 答え合わせをする。 ・ 音声を聞いて分かったことや気付いたことなどをWSの1に記入する。 ・ 分かったことや気付いたことなどを発表する。 ○Sounds and Letters <ul style="list-style-type: none"> ・ 巻末小文字カードを机の上に並べる。 ・ 授業者が言う文字のカードを見せる。 ・ 授業者が示すカードの名前を言う。 	
2	<ul style="list-style-type: none"> ◆誕生日や欲しい物についてのやり取りのおおよその内容を理解する。 ◆世界の1年の行事や祝日について考え、世界と日本の文化に対する理解を深める。 【Warm-up】 ○Let's Chant 「Twelve Month」 (Hi! Friends2) <ul style="list-style-type: none"> ・ 曲を聞いて歌えるところは歌う。 【Activity 1】 ○Word Link <ul style="list-style-type: none"> ・ 「月」の言い方を復唱する。 ○Do you know? <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本全国の、あるいは住んでいる地域の行事について考え、発表する。 ・ 紙面に記載されている行事について予想し、発表する。 ・ クイズの答えを予想し、番号に○を付ける。 ・ 答え合わせをする。 【Activity 2】 ○Word Link <ul style="list-style-type: none"> ・ 「日付」の単語を復唱する。 ○Let's Try 1 Missing Game <ul style="list-style-type: none"> ・ 提示しているカードの中から無くなったカードを探す。 ・ 見つかったカードの単語を言う。 ○Starting Out 	

	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に記入したWSの1を見ながら、No.1~No.5の音声や映像を視聴する。 ・No.4(B)とNo.2(A)の音声や映像を視聴し、WSの2に答えを記入する。 ・答え合わせをする。 ・No.4(B)とNo.2(A)の音声や映像をもう一度視聴する。 <p>○Sounds and Letters</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末小文字カードを机の上に並べる。 ・授業者が言う文字のカードを見せる。 ・授業者が示すカードの名前を言う。 	
3	<p>◆誕生日について友達とたずね合う。</p> <p>【Warm-up】</p> <p>○Let's Sing 「Happy Birthday!」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲を聞いて歌えるところは歌う。 <p>○Let's Chant 「When is your birthday?」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャンツを聞いて言う。 <p>【Small Talk】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業者からの質問にIt's January first. と答え、My birthday is (日付) .と答える。 <p>【Activity】</p> <p>○Let's Try 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の誕生日を確認する。 ・デモンストレーションをもとに、ペアで誕生日についてのやり取りをする。 ・グループで誕生日チェーンを作る。 ・正しい順番かを確認する <p>○Sounds and Letters</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小文字のa~gの名前を言いながら書く。 	<p>◎「思」(話・や) 自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、「When is ~? My birthday is~. およびその関連語句など」簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの情報や考えなどを伝え合っている。</p> <p>〈行動観察・振り返りカード〉</p> <p>◎「主」(話・や) 自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、「When is ~? My birthday is~. およびその関連語句など」簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの情報や考えなどを伝え合おうとしている。</p> <p>〈行動観察・振り返りカード〉</p>

4	◆誕生日に欲しい物について友達とたずね合う。	
	<p>【Warm-up】</p> <p>○Let's Sing 「Happy Birthday!」 ・元気に歌う。</p> <p>○Let's Chant 「When is your birthday?」 「What do you want?」 ・チャンツを聞いて言う。</p> <p>【Activity】</p> <p>○Word Link ・「状態」の単語を復唱する。(PDのp.29「状態」) ・欲しい物の表現と単語の練習をする。</p> <p>○Let's Listen 1 ・音声を聞き取り、答えを線で結ぶ。 ・答え合わせをする。</p> <p>○Let's Try 3 ・自分が誕生日に欲しい物を決めて、表に書く。 ・誕生日に欲しい物をペアでたずね合い、名前と欲しい物を表に記入する。</p> <p>○Sounds and Letters ・小文字のh~nの名前を言いながら書く。</p>	<p>◎「知」(話・や)「What do you want for~? I want~.およびその関連語句など」について理解している。 〈行動観察・振り返りカード〉</p> <p>◎「技」(話・や)「What do you want for~? I want~.およびその関連語句など」を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。 〈行動観察・振り返りカード〉</p>
5 (本時)	◆クリスマス、お正月に欲しい物についてたずね合う。	
	<p>【Warm up】</p> <p>○Let's Sing 「Happy Birthday!」 ・元気に歌う。</p> <p>○Let's Chant 「When is your birthday?」 「What do you want?」 ・チャンツを聞いて言う。</p> <p>【Small Talk】</p> <p>○授業者からの質問にI want (欲しい物) .と答える。</p> <p>【Activity】</p> <p>○Let's Listen 2 ・音声を聞いて表に行事と日付を書く。</p>	

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 答え合わせをする。 <p>○Let's Try 4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クリスマスと元日（お正月）に自分が欲しい物を表に記入する。 ・ クリスマスと元日（お正月）に欲しい物をペアでたずね合い、名前と欲しい物を表に記入する。 <p>○Sounds and Letters</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小文字の o~t の名前を言いながら書く。 	<p>◎「思」（話・や）自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、クリスマス、お正月に欲しい物などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合っている。</p> <p>〈行動観察・振り返りカード〉</p> <p>◎「主」（話・や）自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、クリスマス、お正月に欲しい物などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。</p> <p>〈行動観察・振り返りカード〉</p>
6	<p>◆誕生日と欲しい物についてたずね合い、バースデーカードを作る。</p> <p>【Warm-up】</p> <p>○Let's Sing 「Happy Birthday!」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 元気に歌う。 <p>○Let's Chant 「When is your birthday?」 「What do you want?」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ チャンツを聞いて言う。 <p>【Activity】</p> <p>○Step1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ モデル映像を視聴する。 ・ 巻末のコミュニケーションカードに自分や相手の名前を記入する。 ・ 誕生日をたずね合い、自分が持っているカードに相手の誕生日を記入する。 <p>○Step2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 誕生日に欲しい物をたずね合って、相手が欲しい物の絵を描く。 ・ 相手へのメッセージを書く。 	<p>◎「思」（話・や）自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、誕生日や欲しい物などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合っている。</p> <p>〈行動観察・振り返りカード〉</p> <p>◎「主」（話・や）自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、誕生日や欲しい物などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え</p>

	<p>○Sounds and Letters</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小文字のu~zの名前を言いながら書く。 	<p>合おうとしている。 〈行動観察・振り返りカード〉</p>
7	<p>◆バースデーカードの交換を通じて、誕生日と欲しい物についてたずね合う。</p> <p>【Warm-up】</p> <p>○Let's Sing 「Happy Birthday!」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気に歌う。 <p>○Let's Chant 「When is your birthday?」 「What do you want?」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャンツを聞いて言う。 <p>【Small Talk】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業者からの質問にIt's (日付) .と答える。 <p>【Activity】</p> <p>○Step3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時で作成したバースデーカードを交換する。 ・自身のバースデーカード (産んでくれてありがとう) をおうちの人に感謝のメッセージを書く。 ・友達からもらったカード1枚をp.34に貼る。 <p>【Activity 2】</p> <p>○Challenge</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の誕生日とその月にある日本や世界の祝日や行事をペアで言い合う。 <p>○Sounds and Letters</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業者が指定した16文字をp.92のBINGO表に書き込む。 ・授業者が言う文字に○をしてBINGOゲームを行う。 	
8	<p>◆英語と日本語の違いを知り、世界と日本の文化に対する理解を深める。</p> <p>【Warm-up】</p> <p>○Let's Sing 「Happy Birthday!」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気に歌う。 <p>○Let's Chant 「When is your birthday?」 「What do you want?」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャンツを聞いて言う。 <p>【Activity】</p> <p>○言葉探検</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ケーキ」と「プレゼント」について、4線の上にローマ字を書き、ローマ字と英語のつづりを比べる。 ・どんな違いがあるのかを記入して、右の空欄に記入して、発表する。 <p>【Activity 2】</p>	

<p>○日本のすてき 村雨辰剛さん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村雨さんについての映像や音声を視聴し、おおよその内容を理解する。 ・空欄に答えを記入する。 ・答え合わせをする。 <p>○Sounds and Letters</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業者が指定した 16 文字を p.92 の BINGO 表に書き込む。 ・授業者が言う文字に○をして BINGO ゲームを行う。 	
--	--

7 本時の学習

○本時の目標 自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、自分や相手の誕生日やほしい物などについて、短い話を聞いてその概要が分かったり、伝え合ったりしている。

○準備物 デジタル教科書、ヒントカード、教師用絵カード、ワークシート、振り返りカード

○本時の展開 (5/8 時間)

時間	児童の活動	T1 の活動	◆ALT の活動	準備物◎評価規準 (評価方法)
挨拶 3 分	<p>【Greeting】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>Are you ready? Yes! Let's start! Yes! Let's start!</p> </div>	<p>○挨拶をする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>Good afternoon, everyone! How are you? 4questions, please.</p> </div>	<p>◆挨拶をする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>How's the weather today? What day is it? What's the date? What time is it?</p> </div>	
時間	児童の活動	T1 の活動	◆ALT の活動	準備物◎評価規準 (評価方法)
	<p>【Warm up】</p> <p>○Let's Sing</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Happy Birthday!」を歌う。 <p>○Let's Chant</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「When is your birthday?」「What do you want?」を歌う。 	<p>○映像を流す。</p> <p>○児童と一緒に歌う。</p>	<p>◆児童と一緒に歌う。</p>	

<p>展 開 31 分</p>	<p>【Small talk】 ○Small talk を聞いて質問に答える。</p>	<p>○ALT と本時につなげるための Small talk をする。</p> <p>○学習計画をもとに、児童にめあてをつかませる。</p>	<p>◆「When is your birthday?」「What do you want?」の Small talk をする。</p> <p>◆会話のやり取りの絵カードを提示することで話の内容を分かりやすくする手立てを行う。</p>	<p>絵カード</p>
<p>【Today's aim】 (クリスマス・お正月に) ほしい物をたずねあおう。</p>				
<p>友達のことをもっと知るために</p>				
	<p>【Activity】 ○Let's Listen2 ・音声を聞いて表に行事と日付を書く。 ・答え合わせをする。</p> <p>○Let's Try4 ・クリスマスとお正月に自分のほしい物を表に記入する。</p> <p>・ペアで尋ね合い、名前とほしい物を表に記入する。</p>	<p>○誕生日にほしい物ではなく、より友達のことを知るために他の行事でならどんな物がほしいのか尋ねるめあてであることを確認する。</p> <p>○ほしい物を書くことに困っている児童には、PD を使用してもよいことを伝える。</p> <p>○挨拶から始まるよう声をかけ、活動の支援をする。</p> <p>○ヒントカード (例文) を書いたカードを準備しておく。</p>	<p>◆聞き取ったことをワークシートに記入できているか支援する。</p> <p>◆ワークシートに書けているのか確認し、困っている児童を支援する。</p> <p>◆児童の活動の支援をする。(伝えにくい児童と一緒に活動する。)</p>	<p>ワークシート</p> <p>○ヒントカード</p> <p>◎「思」(話・や) 自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、クリスマス、お正月について</p>

振り 返り 5 分	【Reflection】 ○グループで振り返りをした後、振り返りカードに記入する。その後全体で共有する。	○めあてに沿った振り返りをさせる。 ○本時の感想を聞く。 ○児童の活動で良かったところを評価する。友達の活動の良さに気付いた児童の評価を行う。	◆児童の活動で良かったところを評価する。	振り返りカード
書 く 5 分	【Writing】 ○Sounds and Letters ・小文字の <i>o~t</i> の名前を言いながら書く。	○書き方を確認する。	◆早くできた児童に発展問題を出題する。	
挨拶 1 分	【Greeting】 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> Attention! Let's finish! Yes, let's finish! </div>	○挨拶をする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> Today's leader, please. See you! </div>	◆挨拶をする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> See you! </div>	

○板書計画


Wednesday
5/27th
13:32 p.m.

友達にバースデーカードをつくるために

Today's aim (クリスマス・お正月) ほしい物をたずねあおう。

友達のことをもっと知るために

単元計画

Greeting
Warm-up
Today's aim
Activity
Reflection
Greeting

やり取りの絵カードを貼る